

市長	副市長	部長	課長	参事	課長補佐	係長	記録

【所属名：市民部環境生活課】
【会議名：糸魚川市交通安全対策会議】

- 開示
一部開示 (理由: 条例第 条第 号 該当)
不開示
時限不開示 (開示: 年 月 日)

会 議 録

作成日 令和2年12月4日

日	令和2年11月20日	時間	10:00 ~ 11:15	場所	203、204 会議室
件名	第11次糸魚川市交通安全計画(案)について				
出席者	【出席者】(敬称略) 米田徹、近藤進、金子善一郎、中村昭、菅田浩治、佐藤利行、佐藤亜樹男 後藤幸洋、比護泰子、井川賢一、武藤悟、猪又悦朗、五十嵐博文、富永浩文 【事務局】 環境生活課 高野課長、蒲原課長補佐、大矢主事 糸魚川警察署 神林交通課長				
	傍聴者定員		人	傍聴者数	0人

会議要旨

- 1 開会(10:00)
- 2 会長あいさつ
- 3 委員、事務局紹介
- 4 第11次糸魚川市交通安全計画策定スケジュール(案)について
- 5 議題
第11次糸魚川市交通安全計画(案)について 事務局説明

□糸魚川警察署 交通課長

3ページ 2道路交通事故の現状について、主な事故内容はアクセルペダル・ブレーキペダルの踏み間違いなどによる単独事故の割合が24.2%、このうち高齢者の事故が7割を占めている。

4ページ (2)歩行者及び自転車に関係した事故について、過去3年のデータを分析した結果、4割は「安全不確認での横断」など歩行者側の違反が認められる状況である。

また、自転車乗車中の事故についても過去のデータを分析すると、7割の自転車に「安全不確認」や「判断の誤り」などの違反が認められる状況である。

□西日本旅客鉄道株式会社

令和2年4月から11月1日現在、JR管内での踏切事故は0件、踏切事故に至らない軽微なものが65件発生しているが、いずれも大糸線に関しては該当せず、事故も発生していない。

えちごトキめき鉄道株式会社

平成 27 年度から令和元年度までの鉄道及び踏切事故等は発生していない。

毎年、車両による遮断桿折損が発生しているため、前方車両と十分な間隔がとれない場合は、踏切内に進入しないよう注意してほしい。

【主な質疑・意見等】

委員

3～4 ページの(1)と(1)の一行目、発生件数について「人身事故の」と明記した方が良いのではないかと。

「(1)高齢者が“関与する”交通事故」と「(2)歩行者及び自転車が“関係した”事故」は、書き方を統一した方が良いのではないかと。

5 ページの(4)飲酒運転の 1 行目、「第 1 当事者」の前に「※」があるが、説明が抜けているようなので、対応をお願いしたい。

事務局

今ほど御指摘いただいた内容で修正するとともに、「第一当事者」のところの「※」は削除する。

委員

18 ページの(1) 1 点目と 3 点目について、内容が重複している部分があるので、3 点目の内容を 1 点目にまとめて掲載してほしい。

また、2 交通安全施設等の整備による交通安全の推進に、現在市で夜間の歩行者安全確保のため、実施している LED 街路灯の設置促進について追加してほしい。

事務局

18 ページの内容については重複部分を削除する方向で調整する。街路灯についても調整して追加する。

委員

18 ページの(1)の一行目の「親不知道路」とは何か。他の方が見てもわかる記載内容にしてほしい。

事務局

注釈をつける。

6 その他

委員

75 歳以上の方で一定の交通違反がある場合、臨時認知機能検査する制度がある。具体的にこの施策について発文する場合等において、地域包括支援センターとの情報共有についても入れてもらい、そこから情報提供もらえれば、警察の方で臨時適正検査の制度を適用することができるので、高齢者対策等に効果的だと思われる。その際は警察交通課長とも協議してもらえればありがたい。

事務局

計画を待たず対応が必要と思われる。糸魚川警察署とも調整しながら、できることから進めていきたい。

委員

市内に大型車の駐車スペースが少ないことから、国道・県道・市道で大型車の駐車スペースを作り、

市で集約して、広報してもらえないか。

□委員

どういったニーズで駐車スペースが必要なのか。運転手の休憩スペースという意味か。

□委員

そのとおり。

疲労運転による事故を防止するためにも検討してもらい、連携して広報していきたい。

□委員

東側バイパスや親不知道路などの地域高規格道路の計画段階のものがあるので、その中で関係機関協議していきたい。

7 閉会 (11:15)